市場区分見直しの概要

- 当取引所は、上場会社の持続的な成長と中長期的な企業価値向上を支え、国内外の多様な投資者から高い支持を得られる魅力的な現物市場を提供することを目的として、２０２２年４月４日（以下、移行日）に、現在の市場区分を「プライム市場・スタンダード市場・グロース市場」の３つの市場区分に見直すことを予定しています。

現在の市場区分

市場第一部
流通性が高い企業向けの市場

マザーズ
新興企業向けの市場

市場第二部
実績ある企業向けの市場

JASDAQ
多様な企業向けの市場
（実績ある企業・新興企業）
スタンダード
グロース

新市場区分

プライム市場

多くの機関投資家の投資対象になりうる規模の時価総額（流動性）を持ち、より高いガバナンス水準を備え、投資家との建設的な対話を中心に据えて持続的な成長と中長期的な企業価値の向上にコミットする企業向けの市場

グローバルな投資家との建設的な対話を中心に据えた企業向けの市場

スタンダード市場

公開された市場における投資対象として一定の時価総額（流動性）を持ち、上場企業としての基本的なガバナンス水準を備えつつ、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上にコミットする企業向けの市場

公開された市場における投資対象として十分な流動性とガバナンス水準を備えた企業向けの市場

グロース市場

高い成長可能性を実現するための事業計画及びその進捗の適時・適切な開示が行われ一定の市場評価が得られる一方、事業実績の観点から相対的にリスクが高い企業向けの市場

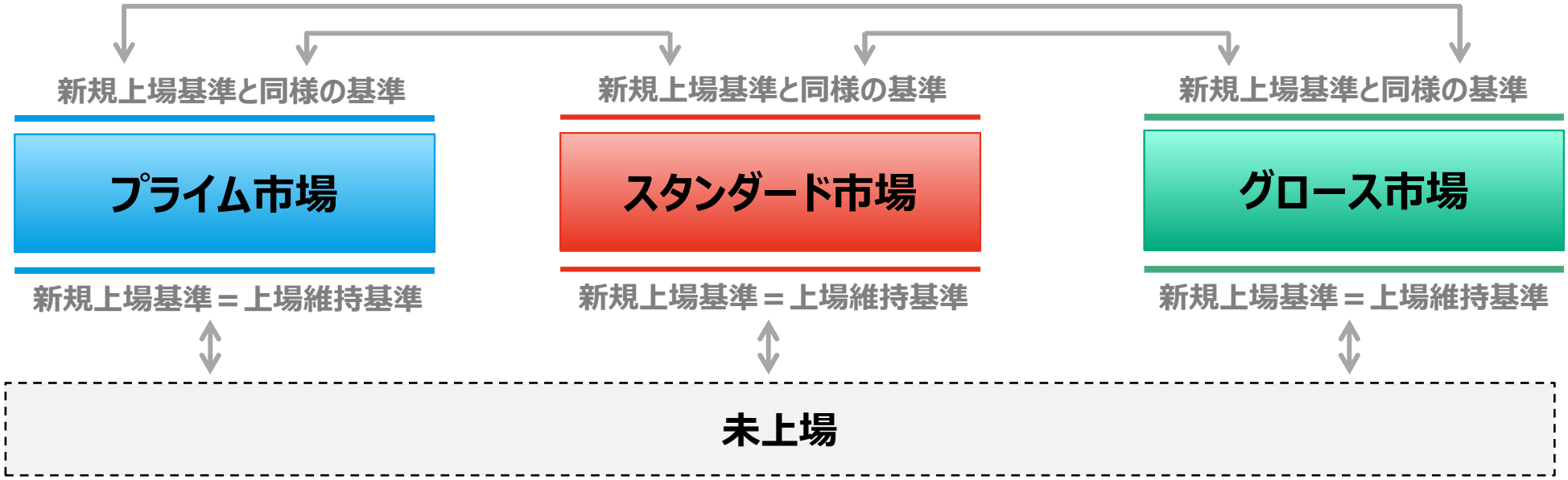
高い成長可能性を有する企業向けの市場

© 2021 Tokyo Stock Exchange, Inc.

新市場区分における上場基準の考え方

- 新市場区分では、各市場区分のコンセプトに応じ、時価総額（流動性）やコーポレート・ガバナンスなどに係る定量的・定性的な基準を設けます。
- 各市場区分の新規上場基準と上場維持基準は、原則として共通化することとし、上場会社は、上場後においても継続して、新規上場基準（の水準）を維持することが必要となります。
- また、各市場区分は、それぞれ独立しているものとし、現在の一部指定基準・指定替え基準・市場変更基準のような「市場区分間の移行」に関する基準は設けないこととします。そのため、上場会社が、市場区分の変更を希望する場合には、変更先の市場区分における新規上場基準と同様の基準を改めて満たすことが必要です。

新市場区分への新規上場等（イメージ）



© 2021 Tokyo Stock Exchange, Inc.

新市場区分の上場会社数（移行日時点）

現市場区分＼新市場区分	プライム市場	スタンダード市場	グロース市場	合計
市場第一部	１,８３９社	３３８ 社		２,１７７ 社
市場第二部 ・JASDAQスタンダード		１,１２７ 社		１,１２７ 社
マザーズ ・JASDAQグロース		１ 社	４６５ 社	４６６ 社
４月４日付 新規上場	―	―	１ 社	１社
新市場区分の上場会社数	**１,８３９ 社**	**１,４６６社**	**４６６社**	**３,７７１ 社**
うち上場維持基準への適合計画を開示	**２９５ 社**	**２０９ 社**	**４５ 社**	**５４９ 社**

（※）現市場区分は２０２２年４月３日時点、新市場区分は４月４日時点の見込みの上場会社数。
新規上場、市場変更、上場廃止等の要因により、２０２２年１月１１日公表時から社数が増減。

© 2022 Tokyo Stock Exchange, Inc.

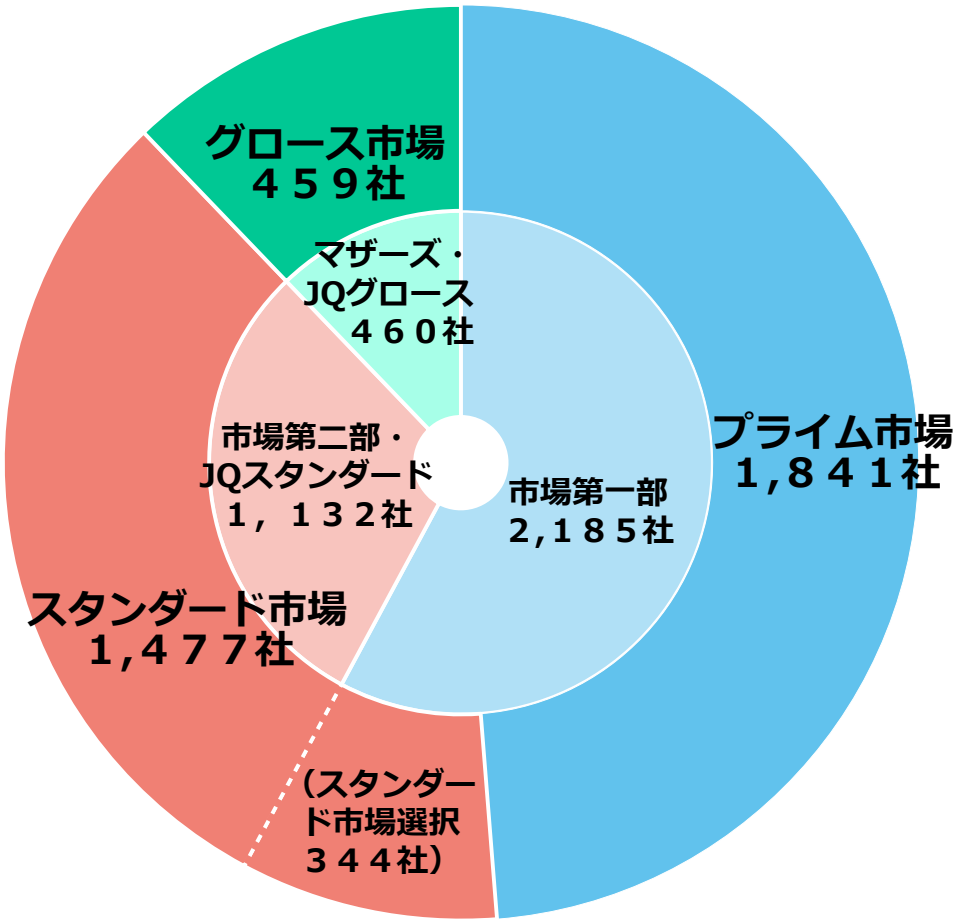
新市場区分の選択結果について

２０２２年１月１１日
株式会社東京証券取引所

新市場区分の選択結果について

新市場区分の選択結果

（内円：現市場区分、外円：新市場区分）



上場会社数：３，７７７社
（１月１１日時点）

プライム市場を選択した会社（１，８４１社）

- ＣＧコード改訂を踏まえた一段高いガバナンス（取締役会・英文開示等）への取組、流動性の一層の向上のための売出、事業ポートフォリオの積極的な見直し、親子上場の解消など積極的な動き
- 上場維持基準に適合していない２９６社は、基準適合に向けた計画を開示し、成長戦略の実施による企業価値向上、政策保有株縮減や自社株消却等による流動性改善に取り組む

スタンダード市場を選択した会社（１，４７７社）

- 市場第一部上場会社のうち３４４社が、自社の事業環境や経営戦略等を踏まえ、企業価値向上に向けて自社に最適な市場区分として選択
- ＪＱスタンダード上場会社は、新たにコーポレートガバナンス・コード全原則への対応に取り組む

グロース市場を選択した会社（４５９社）

- 新たに「事業計画及び成長可能性に関する事項」を開示し、今後の成長に向けた施策に取り組む

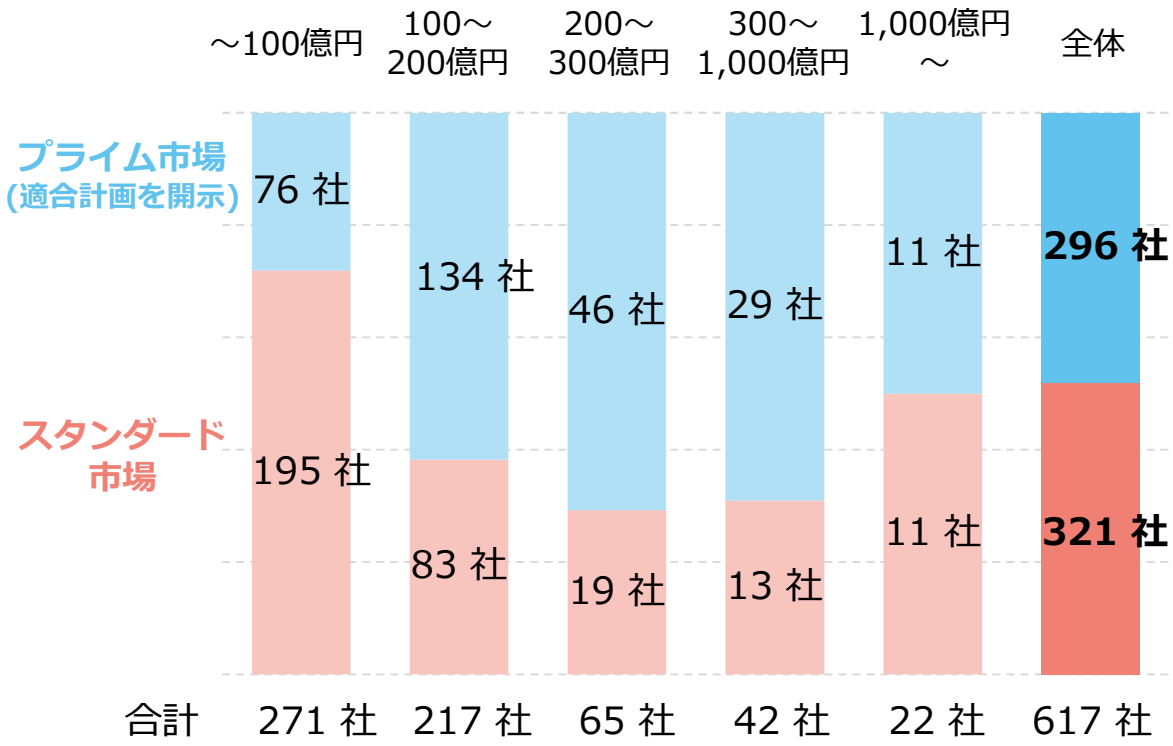
© 2022 Tokyo Stock Exchange, Inc.

（参考）プライム市場の上場維持基準に適合していない会社の動向

合計	プライム市場 (適合計画を開示)	スタンダード市場
６１７ 社（※１）	２９６ 社	３２１社（※２）

（※１）移行基準日（２０２１年６月３０日）時点の６６４社から４７社減少（流通株式の再計算（二次判定）により４４社減少、上場廃止により４社減少、市場第一部への市場変更で１社増加）
（※２）監理銘柄（確認中）に指定されている７社を含む

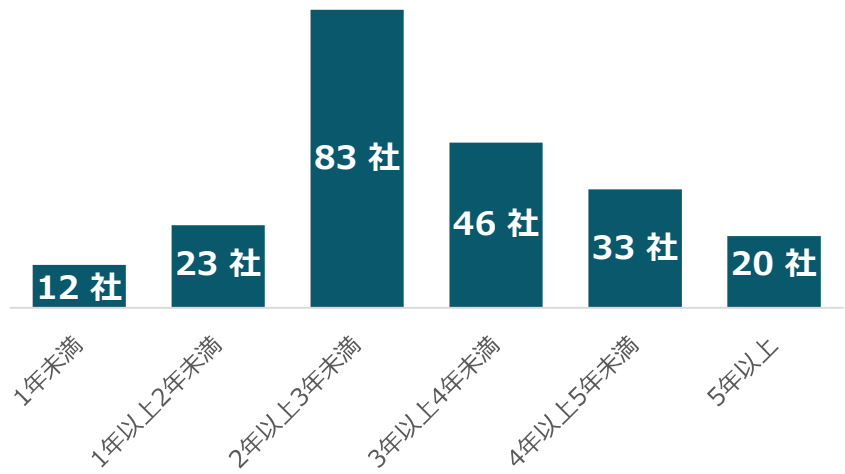
（時価総額別の動向）



（上場維持基準に適合していない会社数）

- 流通株式時価総額：２１７社
- 流通株式比率　　：　３６社
- 売買代金　　：　８４社

（流通株式時価総額の適合に向けた計画期間）



© 2022 Tokyo Stock Exchange, Inc.

（参考）各市場区分で上場維持基準への適合計画を開示した会社数

現市場区分＼新市場区分	プライム市場	スタンダード市場	グロース市場	【参考】 上場会社数
市場第一部	１,８４１ 社	３４４ 社		２,１８５ 社
市場第二部 ・JASDAQスタンダード		１,１３２ 社		１,１３２ 社
マザーズ ・JASDAQグロース		１ 社	４５９ 社	４６０ 社
合計	１,８４１ 社	１,４７７ 社	４５９ 社	３,７７７ 社
うち上場維持基準への 適合計画を開示	**２９６ 社**	**２１２ 社**	**４６ 社**	**５５４ 社**

© 2022 Tokyo Stock Exchange, Inc.

（参考）今後のスケジュール

時期		内容	備考
２０２２年	１月１１日	市場選択の結果を公表	■ 東証ウェブサイトにて公表 ※ 市場変更等が生じた場合は随時更新
	４月　４日	一斉移行日	■ 新市場区分への移行完了 ※ 新市場区分の上場維持基準は４月期決算会社から適用開始（引き続き基準未達の場合には、事業年度末から３か月以内に適合に向けた計画の進捗状況を開示）
	７月頃	プライム市場上場会社の改訂コードに基づくコーポレート・ガバナンス報告書提出（３月期決算会社）	■ プライム市場向け原則のコンプライ・オア・エクスプレインを開示
	１０月末	ＴＯＰＩＸのウェイト逓減開始（四半期ごと１０回に分けて実施）	■ 対象銘柄は１０月７日に東証ウェブサイトにて公表
２０２３年	１０月末	ＴＯＰＩＸのウェイト逓減の再評価	
２０２５年	１月末	ＴＯＰＩＸのウェイト逓減終了	

© 2022 Tokyo Stock Exchange, Inc.